

チョー（長・跳・超）研!!

長研通信

まだまだ暑い日が続きます。室内でも熱中症対策をしましょう！



第5号 令和5年8月28日

文責 教育経営部組織マネジメントⅡ①チーム

組織マネジメントⅡ①チームを紹介します。

今回長研通信を担当する組織マネジメントⅡ①チームは、小学校所属2名、中学校所属2名、計4名のチームです。共通テーマは、「教員の協働性」です。所属校の教員の協働性を高め、抱えている教育課題の解決に資するため、協議を通して学びを深めながら研究を進めています。

7・8月に実施された研修の一部を紹介します。

① 中間報告書の作成に向けたプロジェクトチーム会議を行いました。

プロジェクト研修では、中間報告書の作成に向けたプロジェクトチーム会議を7月31日に行いました。これまでの実践や目標達成に向けた手立てを研究構想図にまとめ、主題と副題の整合性について、指導主事と共に協議をしながら考えました。構想図として研究を構造化するのは大変でしたが、研究のねらいや検証方法を何度も試行錯誤する中で、少しずつ自分の考えが整理されてきました。今後の実践が目標達成に向けてより効果的なものになるよう、プロジェクトチーム会議の内容を生かしていきます。



② キャリアアップ講座で自己研鑽に励んでいます。

キャリアアップ講座では、自分のキャリアステージを見定め、伸ばしたい資質・能力を選択し受講します。事前に教員育成指標で自身のキャリアステージを自己認識することも大切なことだと実感しました。また、教員の資質・能力「教職としての素養」「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」「ICTや情報・教育データの利活用」を伸ばすことは、最終的には児童・生徒に還元されることになり、とても有意義なことだと感じています。

福岡県教育センター **0-1** 共創しよう!
教育の未来
令和5年度専門研修（キャリアアップ講座）
-あなたの求める研修はここにある-



③ 第3回福岡教師塾は『JICA九州』で、国際協力について学びました。

午前の部では、「国際協力（稲作指導の40年）東南アジア（12年）・アフリカ（28年）」と題して、JICA 稲作上級技術アドバイザー 坪井 達史 氏から御講話をいただきました。坪井氏は派遣国の食料不足を解消するために、現地の方々と協力して米の生産量を増やしてこられました。そこでポイントとなったのが「ネリカ米」です。これは、アジア稲とアフリカ稲の交配種で低湿地でも栽培ができる万能稲です。このネリカ米を現地で広めるためには様々な困難がありました。「2年やって効果がなくても、30年・40年後には必ず成果が表れる」と現地の方々やスタッフを励ましながら取組を続けてきたそうです。教育に携わる私たちも、すぐに実り花が咲く児童生徒の姿を期待しがちですが、予測困難な時代を生きていく児童生徒が将来を豊かに生きていくために、私たちがすべき責任を果たしていかなければならないと強く感じました。

午後の部では、「国際協力に関するワークショップ」と題して、JICA九州 国際協力推進員 鬼丸 武士 氏 戸崎 千尋 氏を講師に迎え、「貿易ゲーム」を行いました。「貿易ゲーム」とは、紙（資源）や道具（技術）を不平等に与えられた複数のグループ（国家）の間で、できるだけ多くの富を築くことを競う、貿易のシミュレーション・ゲームのことです。道具（技術）はあるが紙（資源）がない先進国グループと、紙（資源）はあるが道具（技術）がない途上国グループの情報戦や駆け引きをすることを通して、1つの国（人）ではできることに限界があり、協力し合うことで互いを潤すことができるということを学びました。今回学んだことをこれからの研究や学校現場で生かしていきます。

[ワークショップ後の振り返りから]

- ・それぞれの国（人）に違った強みがあることを学びました。
- ・自分のもっている強みは、自分だけでなく周りとの協力することでさらに輝くと思いました。
- ・学校現場では、社会科・家庭科・道徳科・キャリア教育等の場面で活用できるのではないかと感じました。

※次号は教育経営部組織マネジメントⅡ②チームが担当します。